

組紐・組物学会 ニュースレター

The Kumihimo Society Newsletter



Volume

9

Number

15

2019年3月31日

組紐・組物学会行事（終了分）

2018年	5月12日（土）	10:30～16:00	東京ワークショップ「組紐遊び」	多田牧子
2018年	5月25日（金）	10:00～16:00	京都ワークショップ「リバーシブルの組紐2」	小嶋博子
2018年	5月27日（日）	10:00～16:00	京都ワークショップ「老松を楽しむ」	丸山文乃
2018年	7月14日（土）	10:30～16:00	東京ワークショップ「八つ組+4」	吉田有夫子
2018年	8月24日（金）	10:30～16:00	京都ワークショップ「竹の子取りを楽しむ」	多田牧子
2018年	8月25日（土）	9:30～12:00	京都レクチャー「組紐の歴史」	多田牧子
2018年	9月8日（土）	10:30～16:00	東京ワークショップ「ジャネットさんの手組紐」	青柳淑恵
2018年	10月5日（金）	10:00～16:00	京都ワークショップ「緯糸を引き締める」	三上扶美子
2018年	10月6日（土）	9:30～12:00	京都レクチャー「組紐と組物」	多田牧子
2018年	11月10日（土）	10:30～16:00	東京ワークショップ「筒状唐組を組む」	岡本睦子
2018年	12月7日（金）	10:00～16:00	京都ワークショップ「ねじり組」	西 幾代
2018年	12月8日（日）	13:00～15:00	検定試験（実技）	
2018年	12月9日（金）	9:30～12:00	検定直前レクチャー 午後筆記試験	多田牧子
2019年	1月12日（土）	10:30～16:00	東京ワークショップ「ハートささなみ」	清澤澄江
2019年	2月8日（金）	10:00～16:00	京都ワークショップ「クテ打：手操作二つ折り平組紐」	角浦節子
2019年	2月9日（土）	10:00～16:00	京都レクチャー「クテ打」	多田牧子
2019年	3月16日（土）	10:30～16:00	東京ワークショップ「ループ操作技法・手操作法」	亀井三枝子

目次 Contents

第4回組紐国際会議「Braids 2019 伊賀」最終案内	2
創作の組紐 竹の子組	8
今年度ワークショップの全記録	12
組紐・組物学会会告	14

In this issue

Guide to the 4th International Conference on Braids - Braids 2019 Iga	2	
A creative braiding: Bamboo shoot	M. Tada	8
Review of the all workshops in 2018		12
Kumihimo events in and outside of The Kumihimo Society		14

組紐・組物学会ニュースレター

第9巻 通算15号 2019年3月31日発行

編集・発行 組紐・組物学会事務局 京都工芸繊維大学大学院

伝統みらい教育研究センター内 〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎御所海道町

TEL/FAX:(075)724-7844 E-mail: inoda@kit.ac.jp

本印刷物と同じ内容は学会のWebでもご覧になれます。 <http://www.kumihimo-society.org>

組紐国際会議 Braids 2019 伊賀

最終案内



図1 第1回組紐国際会議 京都2007

1. 組紐国際会議の概要

1.1 背景

組紐国際会議は、2007年に日本が主導して京都で第1回を開催しました。第2回と第3回は英国組紐協会の主催でマンチェスター（英国）とタコマ（米国）でそれぞれ開催され、以来12年ぶりの国内開催になります。今回は伝統工芸としての組紐を各国の方に再認識して頂くだけでなく、伝統工芸を支える地方都市にも目を向けて頂きたいと考えました。そこで組紐産業の町である三重県伊賀市を開催地を選定し、学会と自治体とが協力してして準備を進めています。

1.2 会議の内容

第4回組紐国際会議は伊賀市の運営する学習施設「ハイトピア伊賀」を主会場とし、作品展示会を旧津藩の藩校であった文化財「崇徳堂」で、2019年10月14日から18日まで開催します。参加者は17カ国から183人が参加登録を完了しています。詳細は下記Webサイトをご覧ください。

<http://www.kumihimo-society.org/2019.html>

<http://www.braids2019.org/index.html>

1.2.1 基調講演

基調講演は国際的に活躍する4人の研究者・作家による早朝45分の講演で、特に組紐に限定せず、広くテキスタイル全般の話題を取り上げます。

(1) Jennie Parry: "My Obsession with Takadai: Experiments and Innovations" 「高台の実験と改革へのこだわり」14日

(2) Reiko Sudo: "Japanese textiles tradition and changes: Textile creations of NUNO" 「NUNOのテキスタイル創作：日本の染織の伝統と変遷」15日

(3) Susan Foulkes: "Simple and Complex: The Craft of Weaving Bands in Northern Europe" 「シンプルで複雑：北ヨーロッパの織紐」17日

(4) Makiko Tada: "Historical Development, Reconstruction and Engineering of Kumihimo" 「組紐の歴史・復元・工学」18日

1.2.2 特別講演

特別講演は著名な専門家5名による30～45分のプレゼンテーションで16時以降に同時並行で行なわれます。広く一般に公開します。14日、18日



図2 第1回組紐国際会議 京都2007



図3 第2回組紐国際会議 マンチェスター2012

- (1) Joy Boutrup: "Research into European Braiding"
- (2) Katia Johansen: "Conservation issues with braids"
- (3) Gil Dye: "Lace and Laces in the 16th Century"
- (4) Lyn Christiansen & Barbara Walker: "The Story about Our Journey to Make a Piece of Art Together"
- (5) Ruth MacGregor: "A Celebration of Small Woven Things"

1.2.3 実技講習

著名な作家・研究者 33 人による講座で、一日（10 時～16 時）で終了するクラスが 16、2 日間のクラスが 17 予定されています。

- | | |
|------------------|------|
| (1) 丸台の組紐： | 8 講座 |
| (2) 唐組台の組紐： | 1 講座 |
| (3) 高台の組紐： | 2 講座 |
| (4) 組紐ディスクとプレート： | 4 講座 |
| (5) ループ操作組紐： | 3 講座 |
| (6) 織り紐： | 5 講座 |
| (7) プライ・スプリット： | 8 講座 |
| (8) ボビン・レース： | 4 講座 |
| (9) スブラング： | 1 講座 |
| (10) その他： | 4 講座 |

1.2.4 作品展示

参加者全員の作品を展示するほか、伊賀の組紐関係者の作品も参考展示をお願いしています。展示会場は主会場から徒歩 8 分のところで便利も良く、無料で公開されます。

1.2.5 その他

- ・バザール：15 日（月）と 17 日（木）の 16 時以降に、参加者の作品や、関連各社の製品の即売を行います。
- ・バスツアー：水曜日は講演や実技講習の休講日とし、全員がバスで奈良に移動し、春日大社国宝殿を見学します。昼食後は自由時間とし、奈良公園内各所を見学します。

1.3 開催組織

- (1) 主催：組紐・組物学会
国際会議担当理事：廣澤浩一、多田牧子
- (2) 共催：伊賀文化都市協会
- (3) 後援：伊賀市産業振興部
- (4) 協賛：サイオス株式会社
- (5) 海外の共催組織：The Braid Society（英国）、American Kumihimo Society（米国）



図4 第3回組紐国際会議 タコマ2016

2. 展示会

第4回組紐国際会議の作品展示会（崇廣堂）は隔年開催している組紐・組物学会の作品展と合同で開催します。組紐・組物であれば、材料や形態等問いません。新しい発想の作品、個性あふれる作品を募集します。作品の写真は海外の100名の出展者の写真と共に公式図録として出版されます。過去最大の規模の展示会であり、写真集も広く世界中に配布されますので、新作もさることながらこれまでのベストの作品を出展するのも良いでしょう。展示スペースに余裕が無いため、会議参加者以外は会員の方と特別招待のグループ（三重県組紐共同組合など）のみに限定しています。

(1) 出展作品規定

50 x 50 cm のテーブル（図6）上に展示できるもの数点。この範囲に展示できない場合はご相談ください。オリジナル作品で、応募者本人が制作した組紐・組物作品に限ります。出品物に題名・氏名を明記した布片または紙片を添付してください。提出する写真は原則デジタル写真で、これまでの作品展の写真と同様の解像度（注1）を持つもの。作品本体（一作品）の写真と顔写真および簡単な解説文をメールで（secretary@braids2019.org宛）ご送付ください。以前の作品展に出展したものでも構いません。作品は搬入日に持参して下さい。搬入・搬出の日伊賀に来られない方は、他の参加者に各自で依頼して下さい。

(2) 日程等

写真等の提出（兼出展申込み）締切（4月30日）、図録の著者校正（6月10日～30日）、搬入（10月13日）、搬出（10月18日）

出展料：3000円（国際会議参加予定者は無料）京都の学会事務局に銀行振り込みまたはワークショップ参加時に会計担当者に6月30日までに支払い下さい。

（注1）作品本体の写真は、印刷後の図録では作品が102mm x 135mm、顔写真が25mm x 25mmの大きさにな



図5 崇廣堂の展示風景

ります。カラー写真を印刷する場合1インチ当たり350ピクセルの解像度が必要なので、写真の画素数は作品が縦1400ピクセル、横1900ピクセルのものがが必要です。同様に顔写真は一寸四方の大きさなので、縦350ピクセル、横350ピクセルが必要になります。ご自分のデジタルカメラでその様な設定が出来ないと思われる場合は、一番画素数の大きな設定で撮影して下さい。また撮影した写真を会議事務局にどのように送れば良いかわからない場合は、ご相談下さい。デジタルカメラから、撮影したデータが収納されているSDカードを抜き出して郵送して頂いても大丈夫です。また撮影も出来ない場合は、作品現物を郵送して下さい。会議事務局で撮影します。なおアナログ写真のプリントは受け付けられません。

3 伊賀へのアクセス

公共交通機関を利用して伊賀に到達する方法は幾つありますが、バリアフリーや本数などの利便性の条件がつくとほとんど一つに決まってしまう。関西本線は1時間に1本程度しか運行しません。

(1) 東京・名古屋から

電車利用：新幹線でJR-名古屋駅へ、それから在来線の関西本線に乗換え亀山経由でJR-伊賀上野駅に到着すると、



図6 展示スペース（個人）

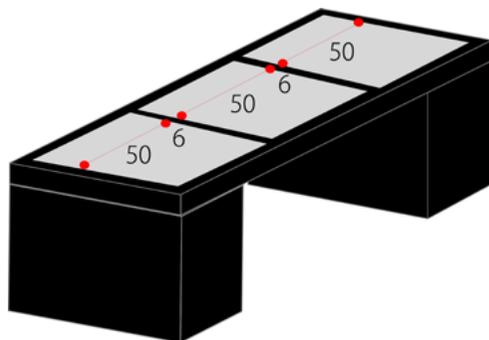


図7 展示スペース（3人分）



図8 伊賀盆地

同じホームの前方に伊賀鉄道の車両が停車しています。ホームのJRの窓口で精算し、伊賀鉄道の乗車券は車内で購入します。約7分で上野市駅に到着します。プラットホームからスロープで地上レベルに降りることができ、駅前広場の向かい側には会場のハイトピアが見えます。ホテルに向かう場合は、伊賀上野シティホテルはハイトピアの裏側なので駅からは徒歩4分で、ルートイン・グランディアは上野市駅の一つ手前の西大手駅で下車し徒歩2分で到着します。

高速バス利用:名古屋から三重交通の高速バスに乗れば、約110分でハイトピアの前に停車してくれます。しかし名古屋駅で新幹線を降りた後の名鉄バスセンターまでの経路は分かり易いとは言えません。改札を出てコンコースを右に進みますが、名鉄バスセンターの表示が全くありません。コンコース突き当たりは金の時計と呼ばれる待ち合わせ場所で、吹き抜けにエスカレータが3台見えます。ここから外に出て右に進みます。広い通りの向こうに、モード学園のスパイラル・タワーが見えるのでその方向に進みます。名鉄バスセンターへの入り口は進行右側にあるので注意しながら進むと、通路前方にナナちゃんと呼ばれる大きなマネキン人形が仁王立ちしています。とても目立つのでその手前にある「名鉄バスセンター→」の表示を見失いがちです。そのエスカレータで3階に上れば名鉄バスセンターの切符売り場があるので、奥の三重交通のカウン

ターで乗車券を購入します。PasmoやSuicaがあれば切符売り場の裏にある1番乗り場に直接向かいます。料金は1850円で8:45から21:25まで1日8便が運行しています。大阪→伊賀の便は土日ですが、名古屋→伊賀の便は曜日に関係なく運行します。

(2) 京都・大阪から

関西本線を利用すると、JR一伊賀上野駅でエレベーターのない跨線橋を越えて、伊賀鉄道のホームに移動しなければならず、バリアフリーにはなりません。京都から草津線の柘植を経由して関西本線を利用すれば名古屋方向からのアプローチになり、プラットフォームは伊賀鉄道のホームと同じになりますが、柘植(つげ)駅の乗換で同様の跨線橋越えが発生します。

大阪からは近鉄上本町駅から近鉄大阪線名古屋方面特急電車に乗車し、伊賀神戸で伊賀線に乗り換えればバリアフリーで上野市駅に到着します。本数も多く便利です。

三重交通の大阪発伊賀行き高速バスは、新大阪駅北口から出発し、地下鉄東梅田駅の地上出口の前にある「近鉄高速バス」と書かれたバス乗り場を経由し、約120分でハイトピア前に停車します。土日のみの運行で料金は新大阪駅発の場合1550円、10:10から19:30まで1日4便が運行しています。三重交通の京都発伊賀行きの高速バスは昨年廃止になり、現在は高速バスの便はありません。



図9 アクセス Map (伊賀観光協会作成)

4. 天神祭

(1) 概要

上野天神祭は菅原神社の秋祭りで、伊賀の藩主藤堂家の記録にある1660年よりも前から行われていたようです。しかし、現在見ることの出来るだんじりと呼ばれる9基の山車の巡行と110体の鬼の行列は、菅原道真公に由来するものではなく、江戸中期の修験道と町人文化の強い影響の元で、京都の祇園祭への対抗意識から始まったと考えられます。2016年にはユネスコ無形文化遺産に登録されました。組紐国際会議は天神祭の宵山の日18時~20時

の解散パーティを最後に終了し、会議参加者は宵山の街に繰り出すことになります。18日の夜まで宿泊すれば、翌19日の夕方までにはほぼ全ての行事を見ることができます。

(2) 祭の日程

宵山：18日（金）だんじり会館のだんじり3基が午前中に出庫。夕方には提灯を点灯して本町・二之町筋に駐車してお囃子が始まり、本町通り・銀座通りには屋台が並びます。

足揃えの儀：19日（土）だんじりの運行（1時から4時、

本町・二之町筋）と鬼行列（2時～4時、三之町筋）が行われ、夕方6時からは提灯を点灯しただんじり4基が本町・二之町筋から菅原神社まで移動します。

本祭：20日（日）神輿、鬼行列と9基のだんじりの運行が9時から行われ4時頃まで本町・二之町・三之町筋を巡行します。詳細は上野天神祭公式サイトをご覧ください。
<https://www.ueno-tenjin-matsuri.com>

(3) 交通

天神祭の期間は交通規制があり、名古屋行きバスは銀

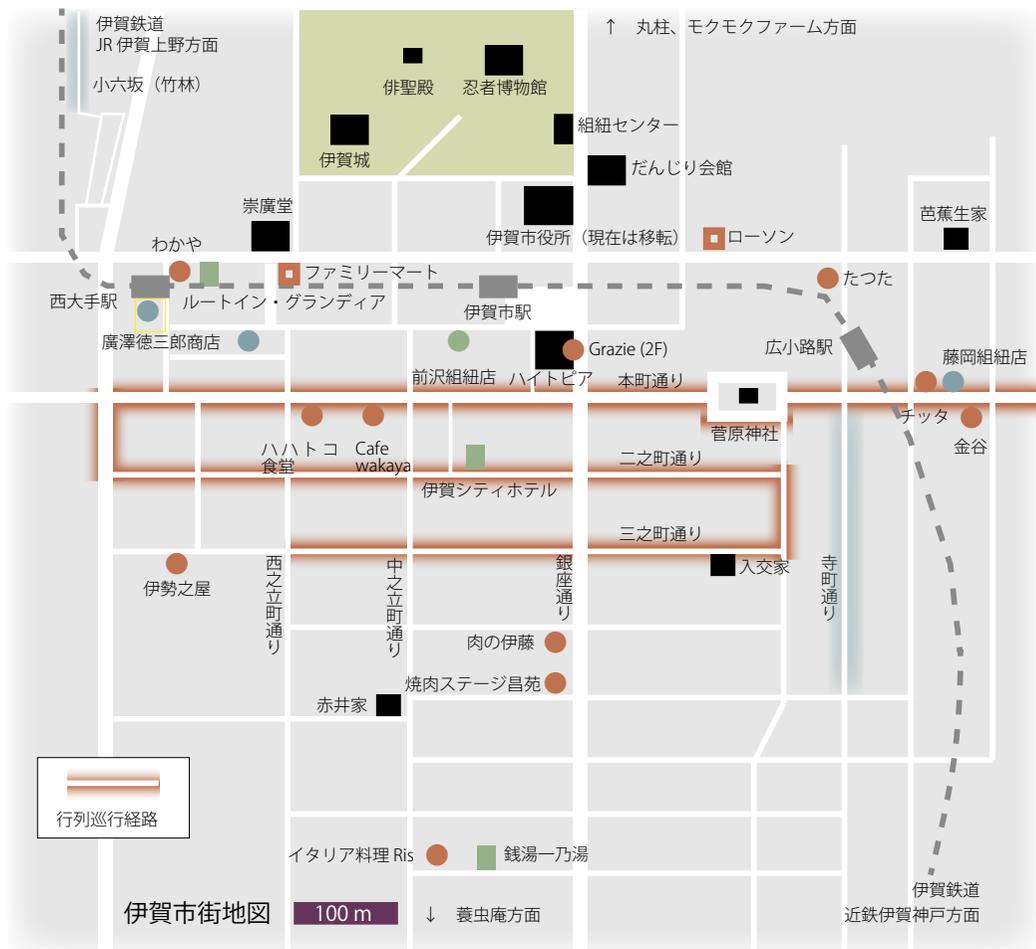


図10 鬼行列



図11 入交家

座通りを迂回します。19（土）、20日（日）は大阪行きのバスも同様ですが、ハイトピア前の乗り場は例年変更がありません。京都行きは三重交通の高速バスが昨年で運行終了となりましたので、海外からの参加者の移動の便を考慮して貸切バスを計画しています。19日は夕方の提灯を点灯しただんじりの巡行がほぼ終了する夜8時に、20日は本祭終了後の午後4時にハイトピア前を出発します。いずれもJR京都駅南口Avantiビル前（関空行きリムジンバスの乗場付近）に停車し、その後主要なホテルを回ります。貸切バスを利用する方は6月30日までに国際会議事務局にお知らせ下さい。

5. 名所・名産

(1) 伊賀の特産品

組紐以外にも、伊賀焼や地酒、伊賀牛を始めとする米、野菜などの食材が豊富です。伊賀焼の窯元は丸柱（まるばしら）地区に集中しており、その中心となる伊賀焼伝統産業会館で各窯元のサンプルや歴史を知ることができます。窯元のひとつ長谷園（ながたにえん）には国の文化財となっている16連房の登り窯（1832～1970年代）があり、同様に文化財となっている母屋や事務所（大正館）も見学できます。伊賀焼の製品はハイトピアから徒歩圏内にあるギャラリーなどで購入できます。

伊賀にある7つの蔵元はいずれも100年以上の歴史を有しており、見学も可能です。原料となる米も酒蔵自ら無農薬の山田錦を栽培したり、県独自の酒米の穂を使ったりと手仕事にこだわる少量生産が特徴です。各蔵元の酒はハイトピアから徒歩圏内の一般酒店で購入できます。

伊賀牛の牧場は近郊に30以上あると云われ、どの牛も伊賀の地で12ヵ月以上飼育された雌の未經産黒毛和牛です。また精肉店が直接牧場から一頭買いて地元の消費者に提供するのが特徴で、その結果流通コストの低減、生産者と消費者の緊密な情報交換などの利点はありますが、広く国内各地でこれを賞味することが出来ないのが難点です。幸い会場のハイトピア1階には「肉の伊藤」の出店が

有り、本店も徒歩圏内にあります。徒歩7分程度のところには、すき焼きの有名店「金谷」があり、会場のハイトピアの2階にはステーキ専門店「Grazie」があります。

(2) 伊賀の名所

伊賀上野城、忍者博物館、だんじり会館、武家屋敷の入交家（いりまじりけ）は会場から徒歩圏内にあり、国際会議参加者にはこれらの統一入場券が支給されるので、空いた時間に見学することが出来ます。また伊賀市内には松尾芭蕉の生家をはじめ、この俳聖ゆかりの場所が多く残されています。観光客用に忍者の衣裳の販売やレンタルをする店（だんじり会館売店など）やホテル（シティホテル、サンピアなど）があります。変わったところでは銭湯通が全国から通う、昭和レトロの一乃湯もハイトピアから徒歩圏で、イタリア料理店Risのとなりです。

自動車を利用すれば、手づくり自然食品のテーマパークのモクモク手づくりファーム、青山高原、上記の日本酒蔵元や伊賀焼の窯元を見学することができます。しかし小京都と云われる町ならではの町並みや、京都の嵐山を小規模にした竹林の道「小六坂」などを散歩するのもお勧めです。

(3) 近郊の名所

甲賀市信楽にあるMiho Museumは、宗教家小山美秀子氏のコレクションである日本の美術工芸の名品を中心に世界の名品を展示しています。ルーブル美術館新館の設計で知られる中国系アメリカ人建築家I.M. Peiの設計した建築も見所です。開館期間の確認が必要です。

名張市の赤目四十八滝は変化に富む多数の滝を巡る2時間のハイキングコースです。

2000年の歴史をもつ伊勢市の伊勢神宮は、2013年に式年遷宮を終え、唐組平緒など714種・1500点を超える神宝も当代の名工による新品に取り替えられました。古い方はこれまで土中に埋められるのが慣例でしたが、一部は神宮徴古館に展示されています。唐組平緒は前回の式年遷宮の際に新築されたせんぐう館に展示されていたが現在休館中で、徴古館に移されています。

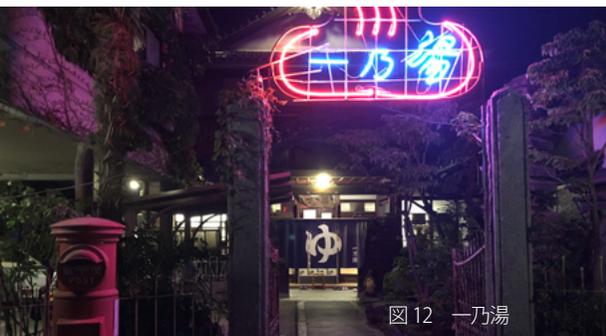


図12 一乃湯

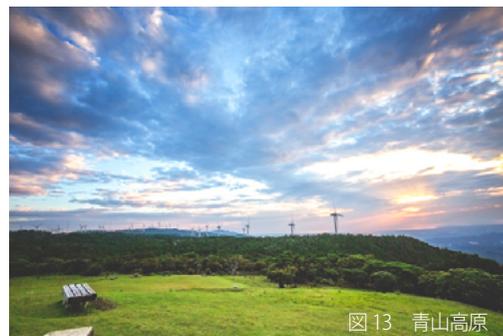


図13 青山高原

創作「竹の子手取り」の組紐

Creative Braiding: Bamboo shoot



多田牧子
Makiko Tada

本稿は 2018 年に東京(5月)と京都(8月)で開催されたワークショップのレシピです。

1. はじめに

8玉ずつ2色、合計16玉で模様を作る平紐シリーズの一つです。組むときの組口の糸の重なりが竹の子のように見えるので、この名前をつけました。配色を左右違う色で組んだり、左右対称色で組んだり、前後の入れ替え回数を変えていろいろな柄を作ることが出来ます。柄を入れ替えるときは、間に切り替え江戸八つをするといいでしょう。

今回はその竹の子目の組紐を手軽に組むため、ディスクで挑戦しました。毛糸でサンプルを組み、丸台での組み方のデモンストレーションを行いました。

基本の組み方を以下にご紹介しますので、ワークショップにご参加なさらなかった方、どうぞお試しください。

バリエーションの作りやすい組み方ですから、ご自分で工夫なさって新しい組紐をお創りください。

サンプル(1) A、B、Cの後、Dを1回組んだ例

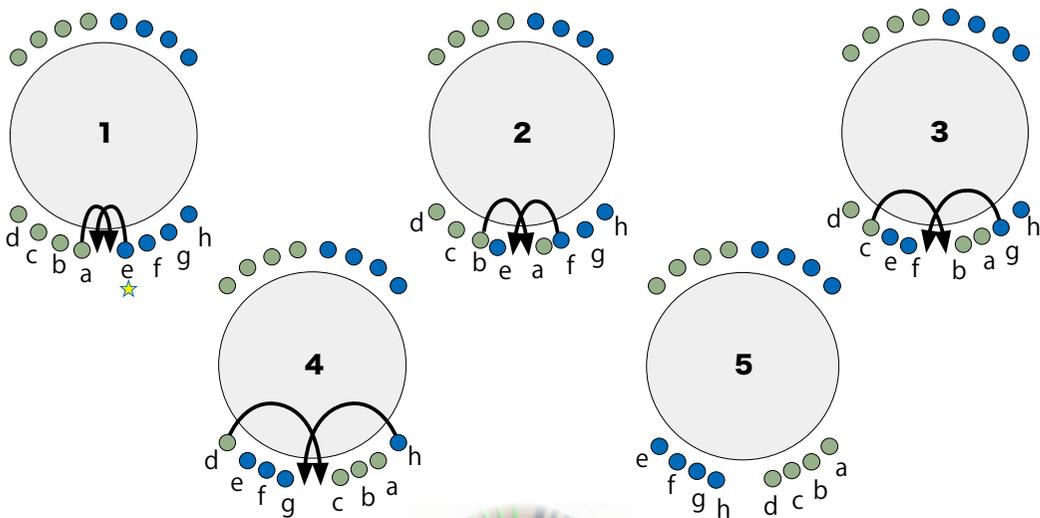


サンプル(2) A、B、Cの後、Dを3回組んだ例



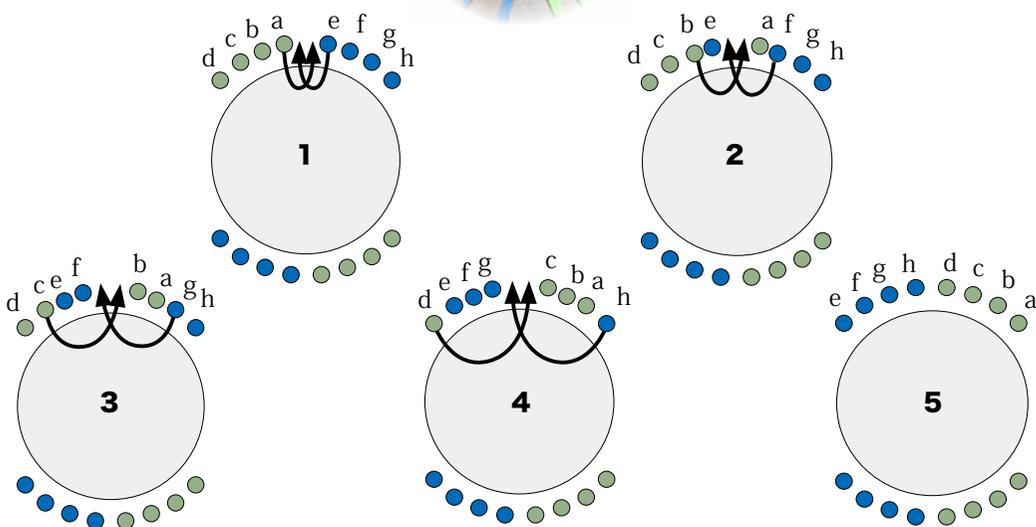
2. 丸台で組む場合

2.1 手前中央から交差（左手で右内側の糸を先に持ち上げる）

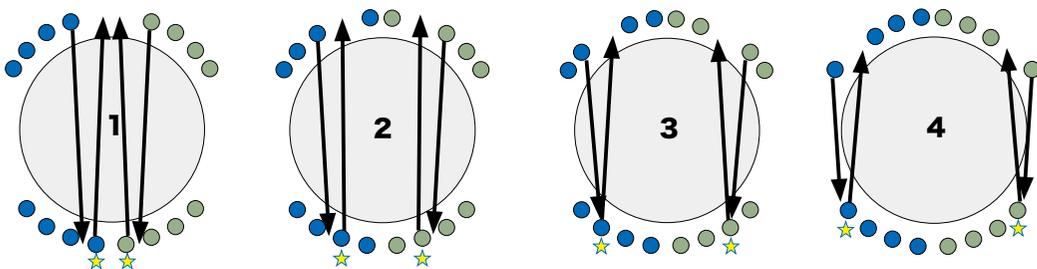


2.2 向う中央から交差

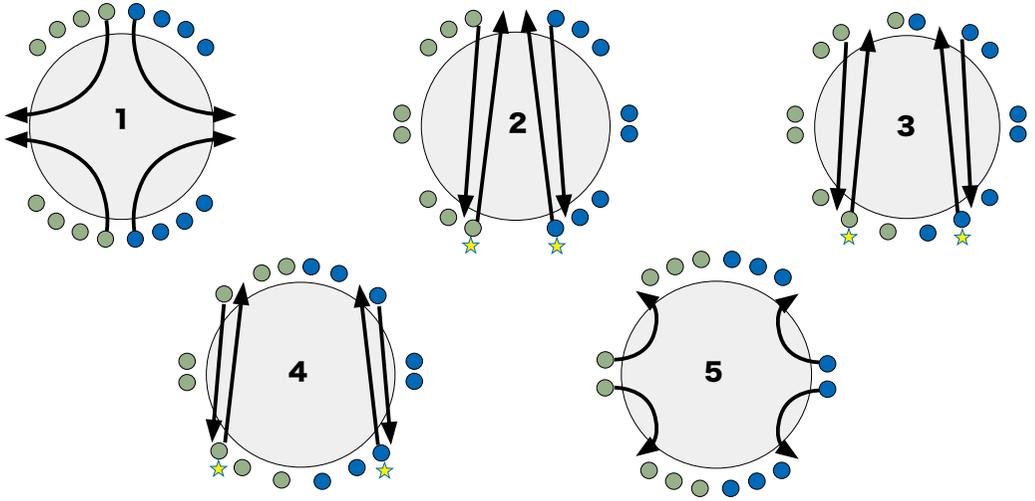
(右手で左内側 a を持ち上げるのが先)



2.3 前後入れ替え（手前から動かす）

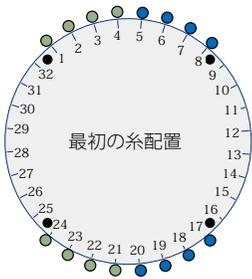


2-4 左右別々の1段 (2段以上もお試しください)

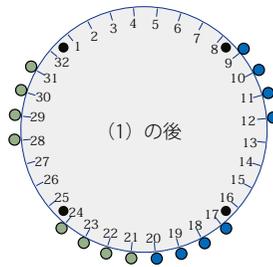


3. ディスクで組む場合

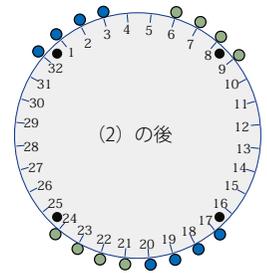
ディスクで組む場合は、4と5の間、12と13の間、20と21の間、28と29の間に目印をつけるとわかりやすくなります。



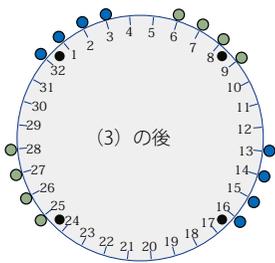
最初の糸配置
1～4、21～24にA色
5～8、17～20にB色



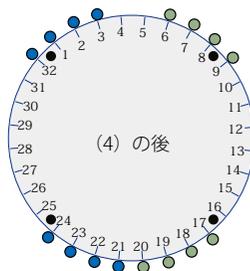
(1) 1～4を 28～31に移動
5～8を 9～12に移動



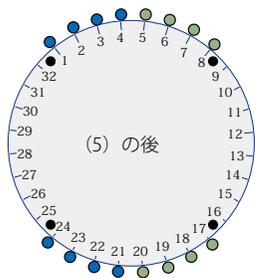
(2) 9→32、31→9
10→1、30→8
11→2、29→7
12→3、28→6
糸は32,1,2,3と6,7,8,9にある。



(3) 17～20を 13～16に移動
21～24を 25～28に移動

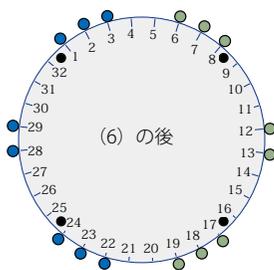


(4) 25→17、16→24
26→18、15→23
27→19、14→22
28→20、13→21

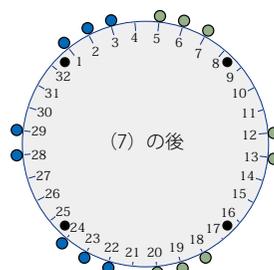


- (5) 20 → 5、 6 → 20
 19 → 6、 7 → 19
 18 → 7、 8 → 18
 17 → 8、 9 → 17

 21 → 4、 3 → 21
 22 → 3、 2 → 22
 23 → 2、 1 → 23
 24 → 1、 32 → 24

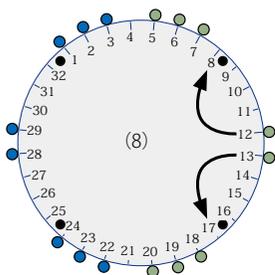


- (6) 5 → 12、 20 → 13
 4 → 29、 21 → 28

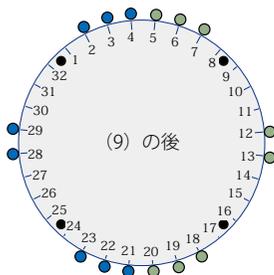


- (7) 19 → 5、 6 → 20
 18 → 6、 7 → 19
 17 → 7、 8 → 18

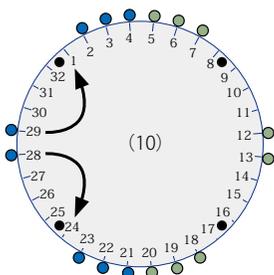
(7) と (8) は 2 ~ 3 回繰り返しても良い。



- (8) 11 と 12 を開いて引き締め
 12 → 8、 13 → 17



- (9) 22 → 4、 3 → 21
 23 → 3、 2 → 22
 24 → 2、 1 → 23



- (10) 28 と 29 を開いて引き締め
 29 → 1、 28 → 24

4. 配色例





東京ワークショップ 日本女子大学

竹の子組

2018年5月12日(土) 多田牧子



ディスクやプレートでいろいろな竹の子組のサンプルを製作しました。基本の組み方を変化させて、自分だけの創作組紐を創った方もいました。

筒状唐組

2018年11月10日(土) 岡本睦子



唐組技法で筒状の唐組を作りました。通常、幅広の唐組は唐組台で製作しますが、今回はボードで扇子入れを組みました。ポシェットやバッグにも応用できます。

八つ組+4

2018年7月14日(土) 吉田有夫子



八つ瀬、平八つ、唐八つ組など、8玉で組む伝統技法に、4玉加え、変化を楽しみました。様々なバリエーションでネックレスやブレスレットなどにも最適です。

ハートささなみ

2019年1月12日(土) 清澤澄江



ささなみ組の伝統技法をアレンジして、ハート模様やウサギ模様・Vサインを組み出しました。模様の変化を楽しむ組紐で、ネックレスやブレスレットなどにも。

ジャネットさんの手組紐

2018年9月8日(土) 青柳淑恵



手だけで組むペルーのテクニックで、綿糸のブレスレットを作りました。プレインカ時代から続く伝統的な技法です。ペルー小旅行のお話もありました。

角組プラス

2019年3月16日(土) 亀井三枝子



クテ打は器具を使わない古代の組紐技法です。オマーンの角組など、色々な角組を製作しました。



リバーシブルの組紐 2

2018年5月25日（金）小嶋博子



ディスクやプレートで、新考案のリバーシブル組紐を作りました。チョーカーやブレスレットなどに適した組み方です。

緯糸を引き締める

2018年10月5日（金）三上扶実子



平たい組紐を組む時、横糸の引き締め方で組紐の表情が変わります。新考案のねじれ組で実験してみました。ネックレスやブレスレットに活用できます。

老松を楽しむ

2018年5月27日（日）丸山文乃



老松技法を元にさまざまに変化させた組み方で、老松を楽しみました。断面が三角形のものやクネクネした老松など、これまでになかった新しい組み方です。

ねじり組

2018年12月7日（金）西 幾代



プレートやディスクを使い、新考案のねじり組を反転させたり、ビーズを入れたりして、アクセサリーを作りました。面白い表情の組紐が出来ました。

竹の子手取り

2018年8月24日（金）多田牧子



ディスクやプレートで「竹の子手取り」を楽しみました。ネックレスやブレスレットにも活用できる新しい組み方です。本ニュースターでも紹介しています。

クテ打

2019年2月8日（金）角浦節子



クテ打の「手操作二つ折組紐」の技法で、「紺紙金文字法華経」の卷子紐（1304年）を組みました。道具を使わないで、素晴らしい組紐が出来ました。

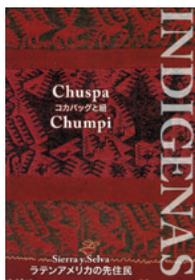
新しい組紐の本



- 書名：「道明」の組紐
- 著者：道明葵一郎
- 体裁：B5版、ソフトカバー 112頁、フルカラー
- 定価：2916円（税込）
- 発行：世界文化社 2018年12月30日
- ISBN：9784418184224



- 書名：道明の組紐 高台
- 編者：道明三保子
- 体裁：182×234、ソフトカバー 100頁、フルカラー
- 定価：不明
- 発行：株式会社道明 2018年10月27日
- ISBN：表記なし



- 書名：コカバッグと紐・サドルバッグ
- 編集：山本悦子・榊龍昭
- 体裁：A5版、ソフトカバー 26頁、フルカラー
- 定価：1080円
- 発行：2019年2月
- 入手：著者 (ebouon@triton.ocn.ne.jp) まで

本書は道明が制作する組紐のデザインのモチーフについて述べており、組み方自体は省略している。モチーフを色名の由来、江戸時代の絵画や欧州の絹織物に求めた例が示され、道明のアイデンティティである「手組み」の正当性をデザイン論や自然科学・社会科学を援用しながら考察している。

本書は絶版となった山岡一晴著「伝統の組紐 道明の高台・綾竹台」主婦の友社(1968)の高台の部分の復刻したもので、前著から綾竹台を含む高台以外の紐の解説が削除されている。しかしサンプル写真はすべて新規のものが使われ、組み方の解説写真もカラーになり、利便性が向上している。

ラテンアメリカ先住民の染織品の収集家の山本悦子氏が西アジア遊牧民の鞍掛袋の収集家の榊龍昭氏と紙面を半分ずつ分担した美しい小冊子で、全ページが染織品のクローズアップ写真で模様や構造の詳細も分かります。

特別ワークショップ

Adrienne Gaskell のビーズ・ワークショップ
「ビーズのグラデーション・ネックレス」

ビーズ組紐の第一人者 Adrienne Gaskell さんがアメリカから来日します。楽しくて素晴らしい組紐ができるワークショップです。Adrienne Gaskell のビーズ・ワークショップはいつもは10月に行っていますが、今年は組紐国際会議 Braids 2019 伊賀があるため、3月に行います。

作るのは、前に結び目のある豪華なネックレスです。今回はビーズの色を段階的に変える技法を学びます。色々なアクセサリに活用できる美しい技法です。どうぞお誘い合わせの上、ふるってご参加ください。

■日時：3月27.28.29日、10：00～16：00
いずれか1日をお選びください。

■会場：京都芸芸繊維大学 総合研究棟4階多目的室

■材料費+ワークショップ維持費：4000円

■持参品：箸1本、ビーズ針、筆記用具、はさみ、ビーズスピナー（お持ちでしたら）丸台・おもり玉小8個（もし仕上がらなかった場合はそのままお持ち帰りになります）

■お申込み方法：ご住所・お電話番号を明記の上、下記宛に、2019年3月25日までに申込みください。メ切厳守をお願いします。

組紐・組物学会事務局 E-mail：inoda@kit.ac.jp
FAX：(075)724-7844



第10回組物検定 京都

第9回の組物検定試験は2019年12月7～8日に京都工芸繊維大学で行われる予定です。本年度は1,2,3,4,5級の検定試験を実施します。

組物検定は、組物を社会に広め、組物技術の向上と発展、技術指導者の育成を目的として、組紐・組物学会が2010年度から実施している検定試験です。性別・年齢・学歴等の制限はありません。

検定基準となる各級の技術到達度および試験範囲は以下のとおりです。学会ホームページもご参照下さい。

■5級：丸台と角台の8玉、16玉。

組物の基礎的な技能と知識があるか。

■4級：丸台16玉、24玉。

組物について専門的スキルと知識があるか。

■3級：クテ打初級、綾竹台初級、丸台など。

組物について専門的スキルと知識を持ち、丸台で創作組紐を作るなど、応用能力があるか。

綾竹台作品2本以上（2年以内に制作したものが望ましい）

■2級：クテ打中級、綾竹台、高台1枚物など。

組物について専門的スキルと知識を持ち、指導者の補佐ができるか。なお2級を受験する方は以下の作品を実技試験の日にご持参下さい。

高台1枚物作品2本以上（2年以内に制作したものが望ましい）

提出作品をこれから組まれる方は房を付けない組みっぱなしで提出して下さい。

■1級：高台2枚物、唐組台など。

組物について高度な専門的スキルと知識を持ち、指導する実力があるか。なお1級を受験する方は以下の作品を実技試験の日にご持参下さい。

高台2枚物作品2本以上

（2年以内に制作したものが望ましい）

提出作品をこれから組まれる方は房を付けない組

みっぱなしで提出して下さい。

1級合格者は、組紐指導者として活躍できるよう、個別の作品展の開催、「組紐・組物学会認定講師」の名刺（学会ロゴ入り）の制作などを学会が支援します。

■合否判定

筆記試験は獲得点数により判定します。合格ラインは年度により変化しますが、5級が75点、4～2級が80点、1級は85点前後です。

実技試験は試験会場で組まれた作品をもとに審査員が判定します。間違いの有無、時間内に所定の長さで組まれているか、動作と出来映えの3つの観点からA, B, Cの3段階評価とし、A, Bが合格となります。

なお、今年不合格になった科目は、翌年にその不合格科目のみを受験して合格すれば、その級に合格することが出来ます。

■受験申込要領

受験申し込みは、住所、氏名、電話番号、メールアドレスをFax、電子メールまたは葉書で11月20日までに学会事務局までお送り下さい。受験料は8000円（絹糸の材料費を含む）です。銀行振込または当日の現金払いも受け付けます。なるべく早めに事務局にご連絡下さい。細かい注意点などがございます。組紐・組物学会事務局

京都工芸繊維大学大学院伝統みらい教育研究センター内
〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎御所海道町
Tel/Fax: (075)724-7844、 E-mail: inoda@kit.ac.jp

■匠検定

2015年度から「匠検定」が設けられました。筆記試験のない実技のみの試験です。実技試験としては、1級より難しく、高台2枚物の技能を検定します。匠検定から受験する方は丸台の試験もあります。また2年以内に製作した作品2点以上を提出して頂きます。



2018年12月 実技試験

ワークショップ 京都 2019-2020

- 第1回WS & レクチャー (60周年記念館 2F)
4月19日(金) 10:00～16:00 サイオス・サステナビリティプロジェクト 吉田有夫子
4月20日(土) 9:30～12:00 レクチャー 多田牧子
- 第2回WS & レクチャー (60周年記念館 2F)
6月21日(金) 10:00～16:00 清澤澄江
6月22日(土) 9:30～12:00 レクチャー 多田牧子
- 第3回WS & レクチャー (60周年記念館 2F)
8月30日(金) 10:00～16:00 銭谷信子・三上扶実子
8月31日(土) 10:00～16:00 レクチャー 多田牧子
- 組紐国際会議 Braids 2019 Iga
10月13-18日(日～金) 10:00～16:00 三重県伊賀市
詳細は本ニュースレター2～7頁を参照して下さい。
- 第4回WS & レクチャー (60周年記念館 2F)
12月6日(金) 10:00～16:00 青柳淑恵
12月7日(土) 組紐検定実技試験
12月8日(日) 9:30～12:00 レクチャー 筆記試験
- 第5回WS & レクチャー (60周年記念館 2F) (2020年)
2月14日(金) 10:00～16:00 春日弘子
2月15日(土) 9:30～12:00 レクチャー 多田牧子

ワークショップ 東京 2019-2020

会場は日本女子大学被服学科物理学実験室です。

- 第1回ワークショップ
5月11日(土) 10:30～16:00 サイオス・サステナビリティプロジェクト 吉田有夫子
- 第2回ワークショップ
7月13日(土) 10:30～16:00 小嶋博子・岡本睦子
- 第3回ワークショップ
9月14日(土) 10:30～16:00 西 幾代・丸山文乃
- 第4回ワークショップ
11月9日 または 16日(土) 10:30～16:00 多田牧子
- 第5回ワークショップ (2020年)
1月25日(土) 10:30～16:00 古澤陽子
- 第6回ワークショップ (2020年)
3月14日(土) 10:30～16:00 亀井三枝子
ワークショップの日時・会場・講師には変更がありますので、学会ホームページで最新情報をご確認下さい。



役員

- 会長
大谷章夫 : 京都工芸繊維大学
- 副会長
仲井朝美 : 岐阜大学工学部
多田牧子 : 組紐研究者
- 理事
荒川光久 : 全国くみひも教材センター
上田隆久 : 日本ピラー(株)
魚住忠司 : 村田機械(株)
小嶋博子 : 組紐研究者
北村雅之 : 北陸ファイバークラス(株)
倉谷泰成 : (株)カドコーポレーション
寺本 靖 : (有)寺本文化財工芸社
西 幾代 : 組紐研究者
西本博之 : 武田薬品工業(株)
濱田泰以 : 京都工芸繊維大学
濱中知子 : ハマナカ(株)
廣澤浩一 : 三重県組紐協同組合顧問
松梨久仁子 : 日本女子大学
圓井 良 : 圓井繊維機械(株)
渡辺一生 : 渡敬(株)

事務局

- 猪田宮子 : 京都工芸繊維大学



組紐・組物学会事務局

京都工芸繊維大学大学院
伝統みらい教育研究センター内
〒606-8585
京都市左京区松ヶ崎御所海道町
Tel/Fax: (075)724-7844
E-mail: inoda@kit.ac.jp
www.kumihimo-society.org
ご入会、ワークショップ、組紐
検定、シンポジウム講演、作品・
製品展参加のお申し込みはこ
ちらをお願いします。